

甲子園初勝利に向け

効率の良い練習を

▶バッティング練習をする増居君

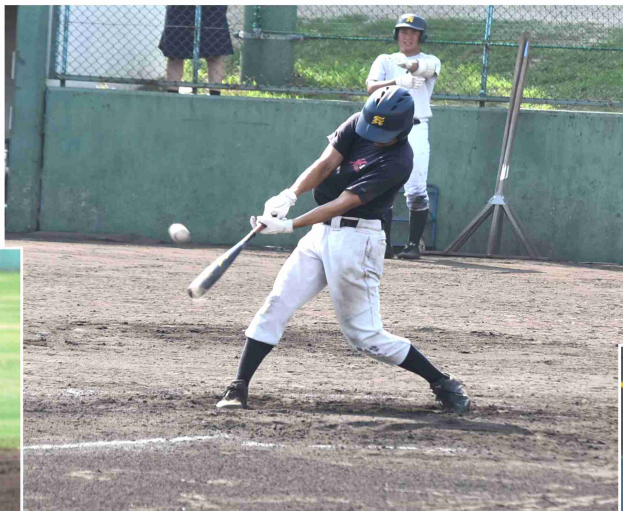


◀試合を想定したノックの練習をする條野正宗君（3-1）

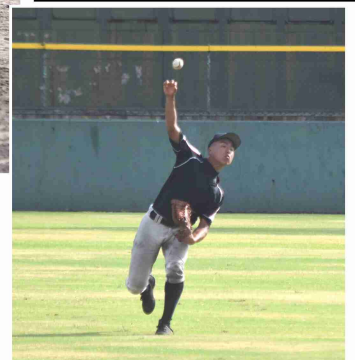
▼勢いよくバットを振る選手



▲ブルペンで投球調整をする松井拓真君（3-5）



▲守備練習をする原晟也君



▲遠距離投球を行う太田剛志君（3-6）

題を述べた。整していききたい」と今後の課題を述べた。

辻山知志君（3-6）は「2時間という練習時間は短かく感じたが、集中して楽しく練習できたのでよかった。走者を置いた打撃練習の走者側の練習が特に大変だった」と練習を振り返った。原晟也君（3-8）は「昨日はあまり練習する時間がなかったので暑さで動けず大変だったが声出しはできていた。初戦も午前中だが暑くなると思うのでしっかりと対策していきたい」と練習の感想を話した。また増居翔太君（2-4）は「甲子園まで練習時間は限られているので効率よく練習しないといけない。甲子園出場にあたって靴など様々なものが新しくなりみんな慣れていない部分が多いので試合までに調整していききたい」と今後の課題を述べた。

今回の練習ではキャッチボールやティーバッティング、バントのような基本的な練習のほか、実際に走者を塁に置いた打撃練習、試合前を想定したノックが行われた。

8月5日の14時から16時まで野球部が兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場で約2時間練習を行った。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号